



沖縄スポーツ産業クラスター推進協議会 「第2回運営会議」を開催しました。

【経済産業部】

NO.8

「第2回運営会議」について

運営会議（議長…沖縄県経営者協会 会長 安里昌利氏）は、スポーツに関する産業群（観光、IT、ものづくりなど）の企業を中心に、産学金官の27機関の代表者からなる委員で構成され、本協議会を円滑に推進していくためにPDCAサイクルの実施を担っています。

本会議では、事務局から、「スポーツ・ヘルスケア観光商品開発研究会」を中心とする、5つの「個別研究会」や、産学金官の異業種間交流による新たなビジネスの創出を目指す「シエルパ会合」、そして次年度の方向性について説明があり、これらの取組に対し委員からご意見を頂きました。

本協議会では会員間の「顔の見えるネットワーク」の形成を推進し、連携・融合の中から新商品や新ビジネスなどのイノベーションを創出することを目指しております。会員数はトレーナーや医療機関、イベント・エンターテインメント、IT分野を中心に合計104（県内83社、県外21社）となりました。ま

た、本協議会事務局に配置されたコーディネーターが、異業種のマッチングや新たなスポーツビジネスの創出を支援しております。本年度は、かりゆし®ブランドを活用したスポーツウェア「かりゆし®スポーツ」の開発・販売など多くのビジネスの芽出しをサポートしてきました。

2018年度の 沖縄スポーツ産業クラスター 推進協議会の方向性について

委員からは、「事業化においては、コスト意識や需要予測が重要」、「クラスター活動が県外に知られていない。東京でのマッチングイベントの開催も検討すべき」といった意見がありました。これらを踏まえ、本協議会では「個別研究会」のテーマ設定を検討し、多様なプレイヤーの活発な交流による新たなスポーツビジネスの創出や事業化に向けた取組を引き続き企画、実施して参ります。

経済産業部企画振興課

担当(大城・仲西・波照間)

☎098-866-1727

運営会議での委員と事務局の意見交換の様子

